

故松田岩男先生を偲ぶ

学校法人梅村学園

総長・理事長 梅 村 清 弘

故松田岩男先生が米国ボストン市のホテルで急逝されてから、早や5カ月が過ぎようとしている。先生が平成4年2月18日午後6時頃（現地時間）侵入してきた物盗りの凶弾に倒れたと言う一報を聞いた時の驚きは筆舌に尽くし難いものでした。穏やかで、怒った顔を見せたことがない先生の人柄から、このような事件が起こるとは想像出来なかったからで、今でもまだ先生がこの世の中からお亡くなりになったと言う気が全くしないのである。そして今から20数年前、はじめてお目にかかった時の松田教授のお顔が、重なりあって目の前に浮かんでくる。当時、東京教育大学の教授であった先生が、中京大学の体育学部の名古屋キャンパスから豊田キャンパスへの移転に際し、同大学の著名な金原・岸野・金子の各教授とご一緒に来訪されたので、先生のお姿をなおさら鮮明に覚えている。当時33歳だった私は、著書でしかお目に掛かれないほどの雲の上の先生方にお会いできた感激は、今でも忘れることはできません。

その後、先生が文部省体育局の社会体育付与制度審議会の委員長の時に、はからずも私も同審議会の副委員長を拝命し、先生から親しくご指導を仰ぐことになりました。

いつもにこにこ笑顔を絶やさず、相手の云うことに耳を傾け、話を逸すことのなかった先生は、一方ではご自分の信念を内に秘め、自己のターゲットを常にしっかりと持っておられました。

先生のご経歴については、恐らく重複すると思いますので、割愛させていただきますが、先生が上越教育大学の副学長の時、すなわち昭和60年4月、請うて中京大学大学院体育学研究科教授としてご招聘申し上げ、昭和62年4月わが国の私立大学で初めて体育学専攻博士課程の設置に向けて、ご尽力頂きました。さらに2期8年にわたり私が勤めてきた中京大学学長職に、昭和63年4月より先生が選ばれてご就任され、併せて学校法人梅村学園の理事として本学の伸展に尽くされた功績は、誠に大なるものがあります。

また先生は、スポーツ心理学の権威者として、日本学術会議会員のほか日本体育学会会長をはじめ文部省関係、心理学・体育学関係の学会など多くの役職を歴任され、その長年にわたる業績は、先生の卓越せる識見と人間性豊かな人格によるものと高く評価されていると思います。

先生は大正9年1月22日に島根県でお生まれになり、幼少の頃より学問とスポーツの両面での才能に恵まれ、旺盛な研究心と忍耐強い努力と相まって、スポーツ心理学においては第一人者であり、同時に陸上競技においては日本を代表するスプリンターでありました。

誠に非凡な学者でありながら、また希有なスポーツマンであったと言う我国でも珍しい存在だと思います。

先生は東京文理科大学で、教育学・心理学を学ばれ、特にスポーツ心理学において競技者のコンセントレーションを高めるメンタルトレーニングを研究され、実験を繰り返されたと聞いています。若い頃から短距離スプリンターとして活躍され、いくつかの記録をものにし、引退後の東京オリンピックでの短距離走のスターターを勤められた経験から、競技者に対する心理学の応用を結び付けられたのだと思います。

時には先生とゴルフを楽しんだこともありました。先生はどちらかと言えば楽しむゴルフの方にはいると思いますが、スタートのティグラウンドにおけるテンションは、いかに一流の心理学者とはいえ、コントロールすることは難しいようで、私もつい「理論と実際は一致しませんね」と軽口を叩き、大笑いをしたことを思い出します。結果はどうであったかはご想像頂けるとと思います。また長年にわたるお付き合いの中で、時にはお酒や食事とともにさせて頂きました。お酒はかなりお強い方ですが決して崩れることはありませんでした。そして興がのればカラオケのマイクを握り、楽しい雰囲気を作って頂きました。

先生は学長の任期を1カ月余を残して不運としか言い様のない最後となってしまいました。まことに残念に思います。その最後の仕事となったマサチューセッツ大学ボストン校との学術交流協定の調印式は、この事故のため大学葬の日まで延期されましたが、先生の逝去と言う余りにも大きな犠牲を伴った協定だけに、日米親善は云うに及ばず、両大学の教育・研究面での堅実な成果が期待されます。マ大では、即時「松田メモリアル基金」の設置を呼掛け、かなりの反響があったと聞いておりますが、アメリカ人の良心と言うものを見た思いがいたします。

私は松田先生を親のような、また恩師のような気持ちで接して参りましたので、先生の急逝はなおさら私を悲しみで包みます。しかしいつまでも虚脱状態の中に閉じ込めることは、先生の意思に沿わないと思います。私達教職員そして学生達は力を併せて頑張りますので、松田先生、どうか中京大学の伸展を見守って下さい。

最後に奥様をはじめご遺族の皆様のご無念の思いをお察しし、あらためて先生のご冥福をお祈り申し上げます。

以上